

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
1 職務の理解	
(1)	多様なサービスの理解
(2)	介護職の仕事内容や働く現場の理解
2 介護における尊厳の保持・自立支援	
(1)	人権と尊厳を支える介護
(2)	自立に向けた介護
3 介護の基本	
(1)	介護職の役割、専門性と多職種との連携
(2)	介護職の職業倫理
(3)	介護における安全の確保とリスクマネジメント
(4)	介護職の安全
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1)	介護保険制度

実施計画					
カリキュラム名・時間数				実施内容	
1 職務の理解				6時間	
		通学	通信	合計	
(1)	同左	3		3	(1) 講義のみ
(2)	同左	3		3	(2) 講義及び演習 介護福祉の現場の職務内容を知り、グループで意見を交わす。
2 介護における尊厳の保持・自立支援				時間	
		通学	通信	合計	
(1)	同左	0.5	3.5	4	(1) 通信講習及び講義及び演習 不適切なケア・虐待・権利の侵害の事例をもとにグループでどのような支援が良いのか検討する。
(2)	同左	1	4	5	(2) 通信講習及び講義及び演習 自立支援・介護予防の事例をもとにグループでどのような支援が良いのか検討する。
3 介護の基本				6時間	
		通学	通信	合計	
(1)	同左	0.5	1	1.5	(1) 通信講習及び講義及び演習 介護福祉職の専門性とはどのようなものか、他職種連携とはどのようなものかをグループで検討する。
(2)	同左	0.5	1	1.5	(2) 通信講習及び講義及び演習
(3)	同左	1	0.5	1.5	(3) 通信講習及び講義及び演習
(4)	同左	1	0.5	1.5	(4) 通信講習及び講義及び演習
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携				9時間	
		通学	通信	合計	
(1)	同左	0.5	3	3.5	(1) 通信講習及び講義及び演習

	(2) 障害福祉制度及びその他制度
	(3) 医療との連携とリハビリテーション
5 介護におけるコミュニケーション技術	
	(1) 介護におけるコミュニケーション
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション
6 老化の理解	
	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常
	(2) 高齢者と健康
7 認知症の理解	
	(1) 認知症を取り巻く状況
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
	(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活
	(4) 家族への支援
8 障害の理解	
	(1) 障害の基礎的理解
	(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識
	(3) 家族の心理、かかわり支援の理解
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	

	(2) 同左	0.5	1.5	2
	(3) 同左	0.5	3	3.5
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間				
		通学	通信	合計
	(1) 同左	1.5	1.5	3
	(2) 同左	1.5	1.5	3
6 老化の理解 6時間				
		通学	通信	合計
	(1) 同左	1.5	1.5	3
	(2) 同左	1.5	1.5	3
7 認知症の理解 6時間				
		通学	通信	合計
	(1) 同左	0.5	0.5	1
	(2) 同左	1	1	2
	(3) 同左	1	1	2
	(4) 同左	0.5	0.5	1
8 障害の理解 3時間				
		通学	通信	合計
	(1) 同左	0.5	0.5	1
	(2) 同左	0.5	0.5	1
	(3) 同左	0.5	0.5	1
9 ところとからだのしくみと生活支援技術 75時間				
		通学	通信	合計

	(2) 通信講習及び講義及び演習
	(3) 通信講習及び講義及び演習
5 介護におけるコミュニケーション技術	
	(1) 通信講習及び講義及び演習 利用者に合わせたコミュニケーションの図り方、工夫をペアを組んで行う。
	(2) 通信講習及び講義及び演習 事例をもとにグループで会議を行い報告書を作成する。
6 老化の理解	
	(1) 通信講習及び講義
	(2) 通信講習及び講義
7 認知症の理解	
	(1) 通信講習及び講義
	(2) 通信講習及び講義及び演習 健忘と認知症の違いを事例から検討する。
	(3) 通信講習及び講義及び演習 認知症の事例をもとにグループ検討する。
	(4) 通信講習及び講義
8 障害の理解	
	(1) 通信講習及び講義及び演習
	(2) 通信講習及び講義及び演習
	(3) 通信講習及び講義及び演習
9 ところとからだのしくみと生活支援技術	

(14) 総合生活支援技術演習	(14) 同左	5	5	(14) 講義及び実技演習 右片麻痺で言語障害のある利用者・左麻痺で車椅子利用者、この2事例の着脱・移動・移乗支援の計画を立案しこれをもとに演習を行う。
10 振り返り	10 振り返り	時間		10 振り返り
		通学	通信	合計
(1) 振り返り	(1) 同左	2	2	(1) 講義及び演習 介護福祉職に求められるものについてグループで話し合い、あるべき姿を具体化する。
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 同左	2	2	(2) 講義及び演習 グループでなぜ継続的な研修が必要なのかを話し合う。
追加カリキュラム				
合計	計	130時間		